
2022 年度ウインタースクール(株式会社ニッスイ)の開催報告

:食品メーカーのブランド価値経営－ニッスイグループのブランド戦略を事例として－

2023年2月25日(土)10時から15時にかけて、2022年度ウインタースクールを開催しました。前回に続けて、明治大学生田キャンパスを拠点に、オンラインで開催しました。Zoomでの開催であったため、地方からの参加も活発でした。

学部生・大学院生の参加だけではなく、推薦者である指導教員(会員)の参観も活発化してきています。研究者が食品業界の実情に接する貴重な機会ともなっていると思います。

今回は、松原 晋 氏(株式会社ニッスイ サプライチェーンマネジメント部・日水物流株式会社営業本部 担当部長)をお迎えし、以下のプログラムで進行しました。



10:00 受付開始

10:15～10:30 開会・ガイダンス

10:30～12:00 講義(90分)

「食品メーカーのブランド価値経営－ニッスイグループのブランド戦略を事例として－」

12:00～13:00 昼休み

13:00～14:10 グループワーク

「日本における食用魚介類の消費量減少をストップさせるための解決策とは!？」

14:10～14:40 グループワーク発表・質疑・フィードバック

14:40～14:50 全体フィードバック

14:50～15:00 閉会

今回の参加校は、次のとおりです。

- B2 東京農業大学 国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科
- B2 明治大学 農学部 食料環境政策学科
- B2 東京農業大学 国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科
- B2 明治大学 農学部 食料環境政策学科
- B2 大阪成蹊大学 経営学部 経営学科 食ビジネスコース
- B3 日本大学 生物資源科学部 食品ビジネス学科
- B3 日本大学 生物資源科学部 食品ビジネス学科
- M1 東京農業大学大学院 国際アグリビジネス学専攻
- M2 明治大学 農学部 食料環境政策学科



以下では、講師である松原晋氏よりご寄稿いただいた当日のコメントとスライド資料の一部を掲載いたします。今後のサマースクールやウインタースクールへの応募の参考にしていただければ幸いです。

文責:教育支援プログラム委員会・佐藤奨平(日本大学)

【寄稿】

食品メーカーのブランド価値経営 ーニッスイグループのブランド戦略を事例としてー

松原 晋(株式会社ニッスイ・日本フードシステム学会理事)

午前中の講義では、はじめに1955年夏にサンフランシスコ州立大学の心理学者ジョセフ・ルフトとハリー・インガムが発表した対人関係における気づきのグラフモデルであるジョハリの窓を紹介し、自己開示してフィードバックいただくことで、自分自身が知らなかった自分を知り、新たな気づきが生まれる可能性があることを説明した。

The image shows a presentation slide on the left and a video conference grid on the right. The slide is titled "マーケティング" (Marketing) and "環境分析 (3C分析)" (Environmental Analysis (3C Analysis)). It features three overlapping circles: "顧客 Customer" (Customer), "競合 Competitor" (Competitor), and "自社 Company" (Company). Text boxes describe each: Customer (growth, purchase decisions), Competitor (company status, competitive advantage), and Company (resources, evaluation). A source note at the bottom reads: "出所: 強いブランドが生み出す価値: ブランド価値経営 (首藤2018) を参考に作成". The video grid shows several participants, with names like "佐藤 晋平 (日本大学)" and "松原 晋" visible.

オンライン方式の開催で他大学の初対面の学生さん同志がグループワークに取り組んでいただく中で、少しでも活発に議論していただくことを願っての試みであった。

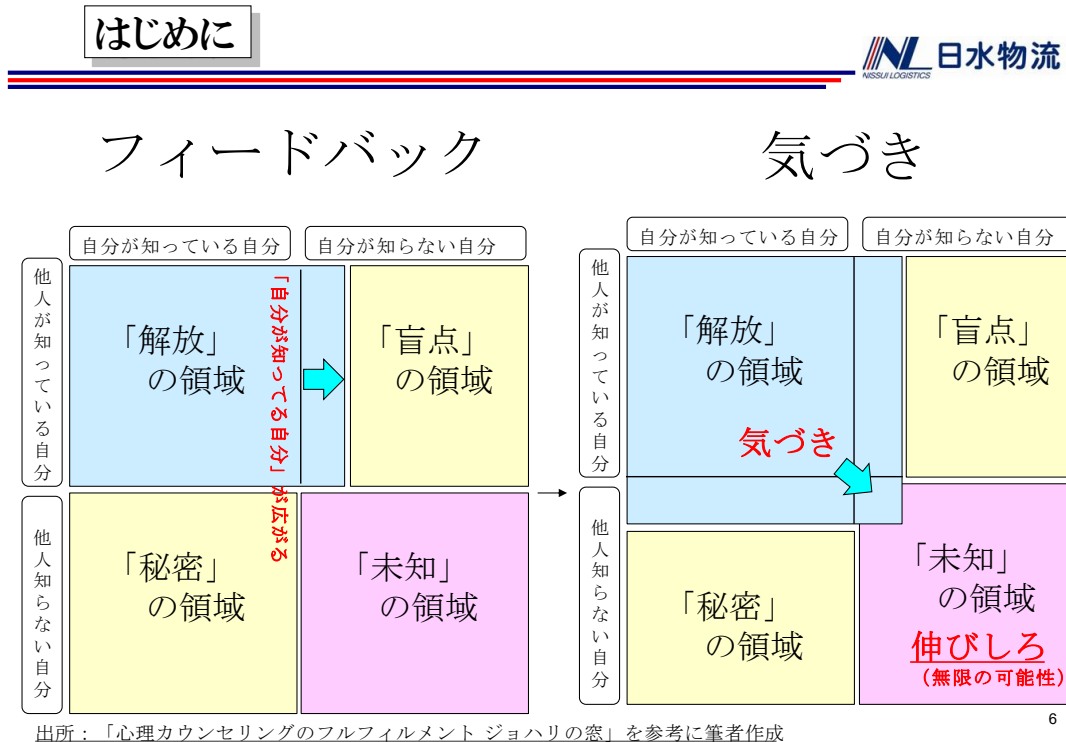
The image shows a presentation slide on the left and a video conference grid on the right. The slide is titled "ブランディング" (Branding) and "4つのブランド階層とその特性" (4 Brand Layers and Their Characteristics). It features a graph with "広範" (Broad) on the y-axis and "限定" (Limited) on the x-axis. The layers are: "個別ブランド" (Individual Brand) -> "ファミリーブランド" (Family Brand) -> "事業ブランド" (Business Brand) -> "企業ブランド" (Corporate Brand). Characteristics include: Individual (tech-dependent), Family (multiple categories), Business (specific business), and Corporate (universal). A source note at the bottom reads: "出所: 理解できる。ブランドマーケティング (2014) を参考に作成". The video grid shows a participant named "松原 晋".

私も自己紹介の後に学生時代に取り組んだ部活やアルバイト、現在のストレス解消を兼ねた趣味(観劇、カラオケ、読書、映画鑑賞、アニメ、ウォーキングなど)できるだけ具体的に自己開示して、コミュニケーションの第一歩は共通点探しが有効であることを説明した。



学生さん達の活発な議論に関する心配は取り越し苦労に終わり、午前中の講義に対する質問をはじめとして、午後のグループワークにおいても積極的で活発な討議が展開されたことは大きな喜びであり、学生さん達からのフィードバックに新たな気づきを得たのは自分自身であったと感じています。

午前中の講義資料:例①



午前中の講義資料:例②

ブランディング

大事なのは「ブランドリスクマネジメント」


日水物流

ブランド構築に**20年**

信頼を失うのは**一瞬!!**



産地偽装



不正



偽装



二重帳簿・裏帳簿



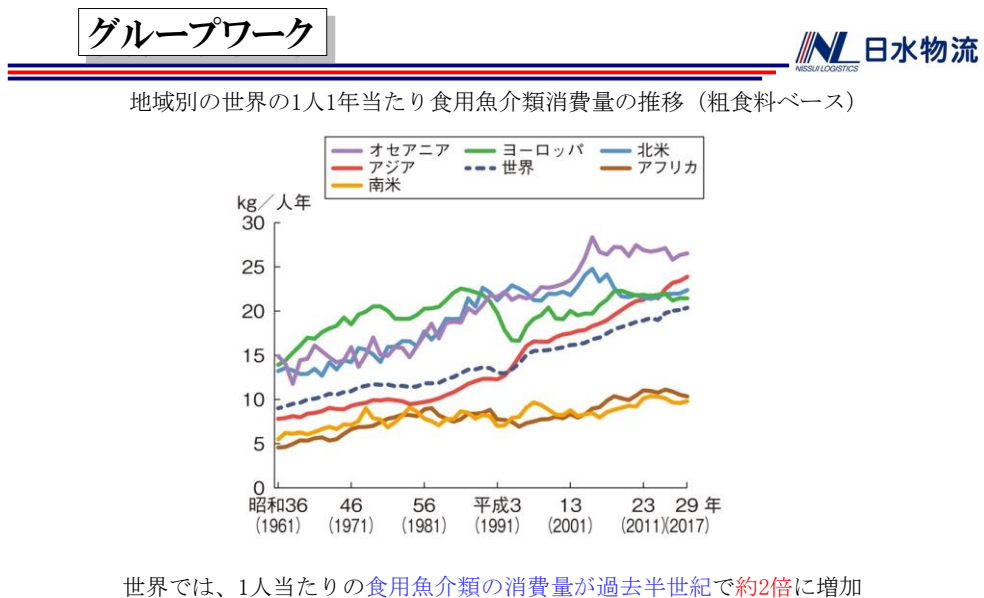
隠ぺい



インサイダー取引

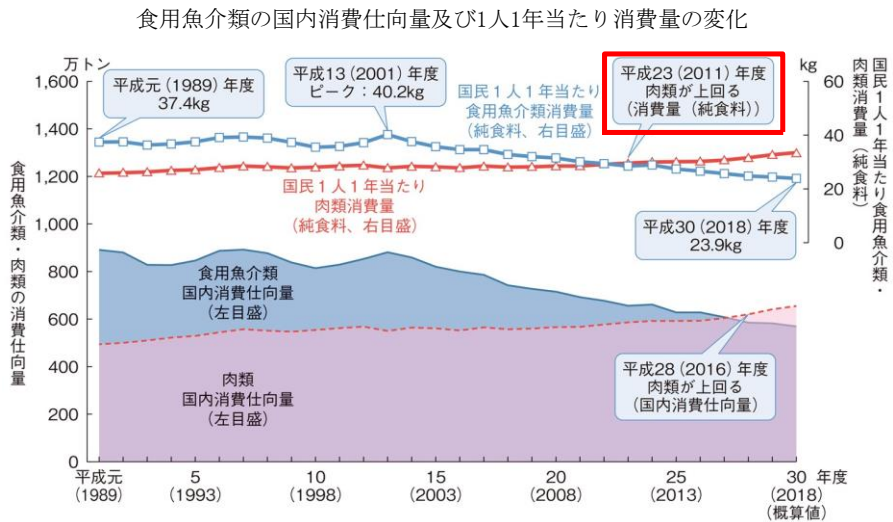
47

午後のグループワーク資料:例①



午後のグループワーク資料:例②

グループワーク



出所 (資料) : 農林水産省「食料需給表」

7



写真:閉会(次回のウインタースクールでもお目にかかることを楽しみにしております!)

日本フードシステム学会・会長の茂野隆一先生(筑波大学)、教育支援プログラム委員会・委員長の廣政幸生先生(明治大学)をはじめ、教育支援プログラム委員会担当幹事の佐藤奨平先生(日本大学)、当日、参観教員として同席いただいた皆様や事務局など関係者各位に心より御礼を申し上げます。